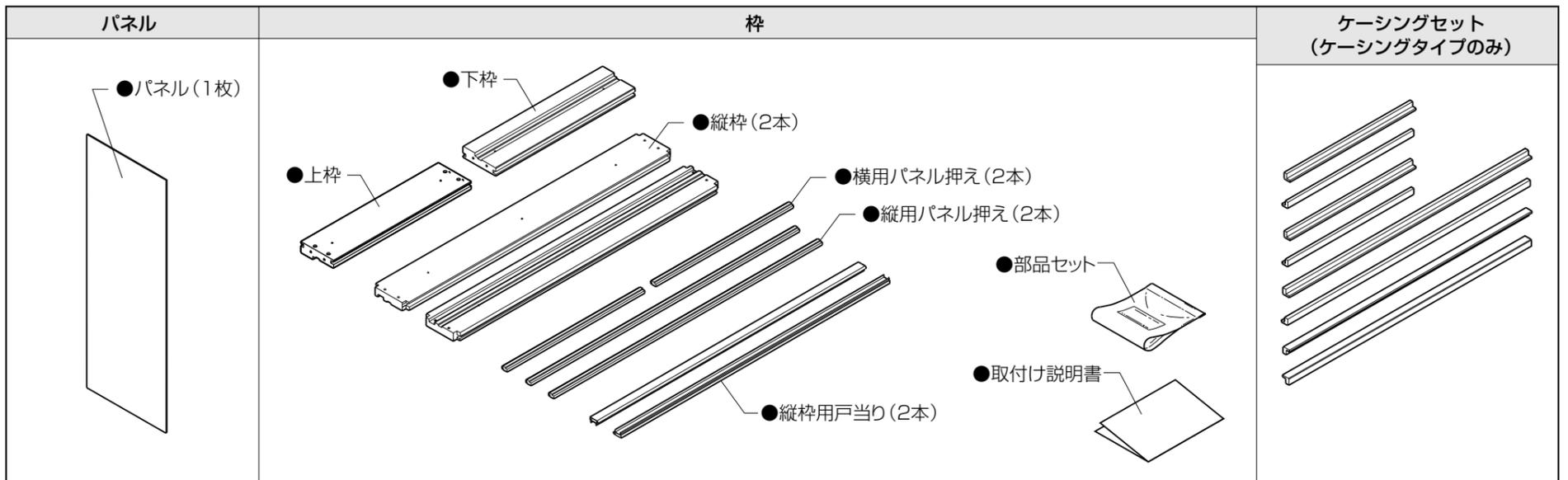


●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 造作材の取付け・建具のかい木には、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
 - 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
 - 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
 - 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
 - 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくって納めてください。
 - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細



■枠セット

	員数
縦 枠	2
上 枠	1
下 枠	1
戸当り	縦2

■部品セット

	員数
組立て用皿小ねじM4×50	8本
上下枠・縦枠取付け用DNビス（皿木ねじφ3.8×50）	10本
パネル押え取付け用皿木ねじφ3.1×25	12本

■ケーシングセット

上用ケーシング	4
縦用ケーシング	4

■パネルセット

パネル	1枚
-----	----

■取付け範囲 (単位: mm)

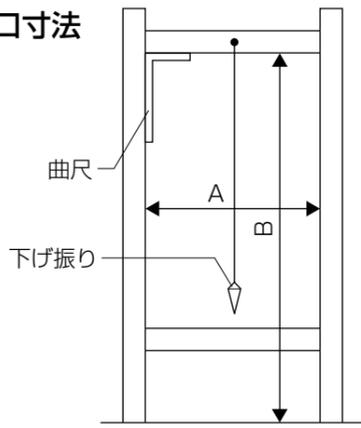
	ケーシングタイプ		ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111~141	142~182	116~130	131~145	146~160

開口部の作り方

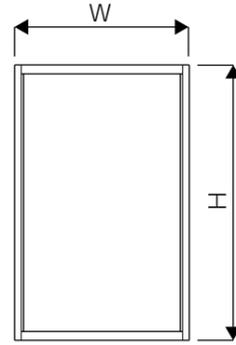
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

●開口寸法



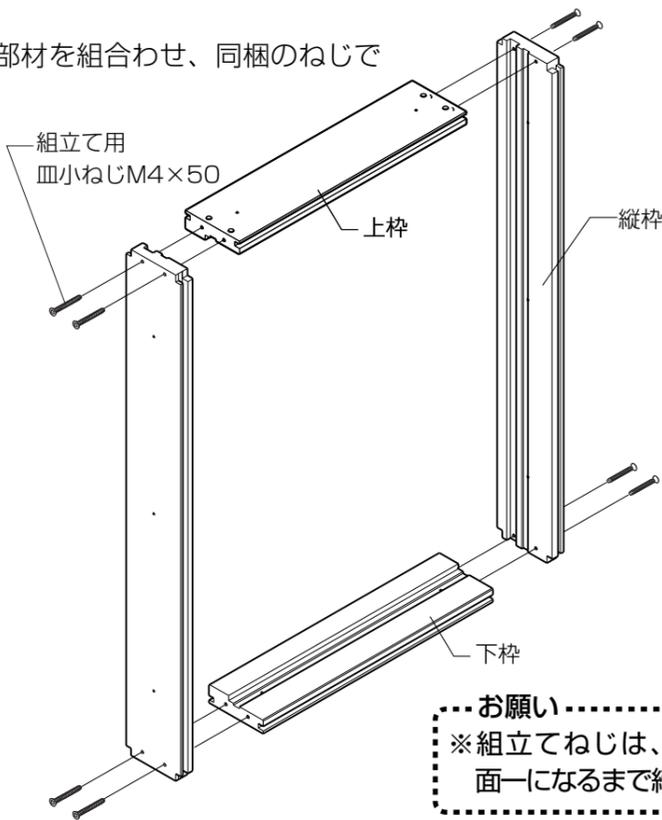
●製品寸法



取付け順序

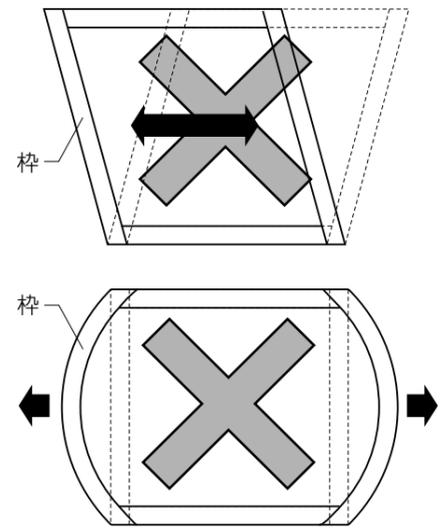
1 枠の組立て

●下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。



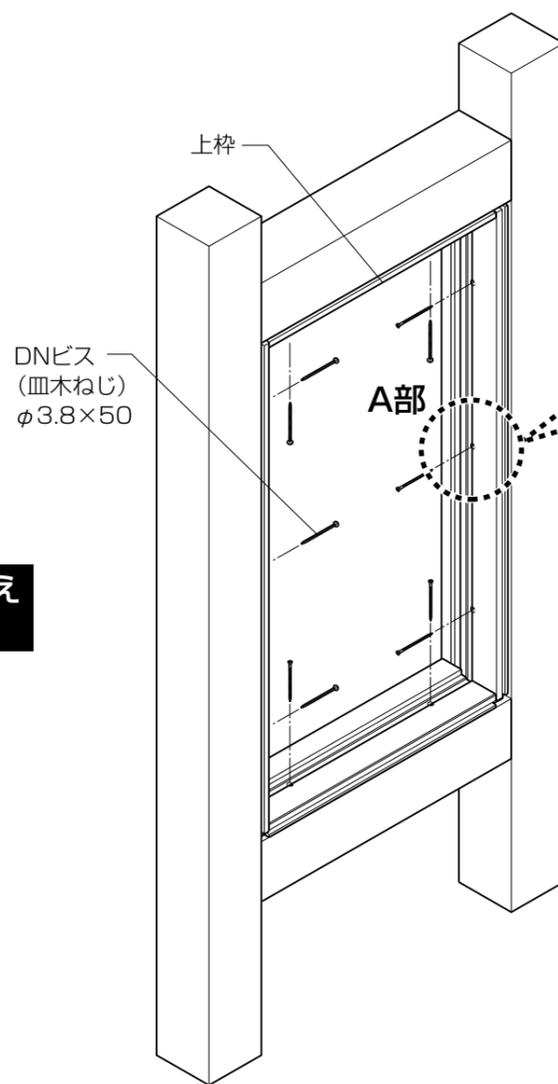
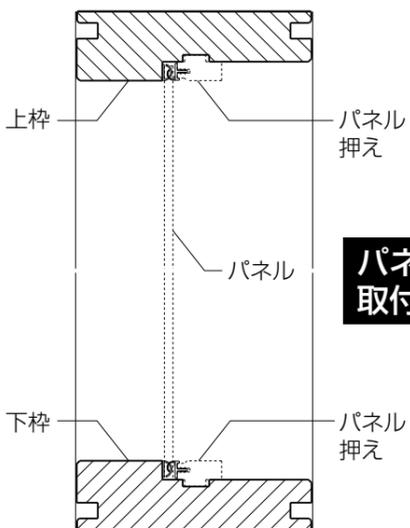
お願い
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

お願い
※ガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。

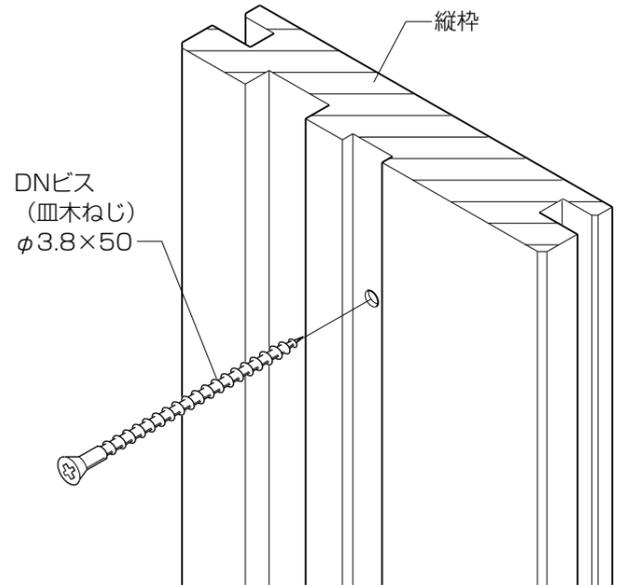


2 枠の取付け

- ① 枠を開口部に固定します。
 - ② 上枠とまぐさ、縦枠と柱のすき間にかい木を入れ、本固定します。
- ※枠は下図を参照の上、枠の取付け向きを決めてください。
※吹抜けに納める場合は、パネル押え取付け側を室内側にしてください。

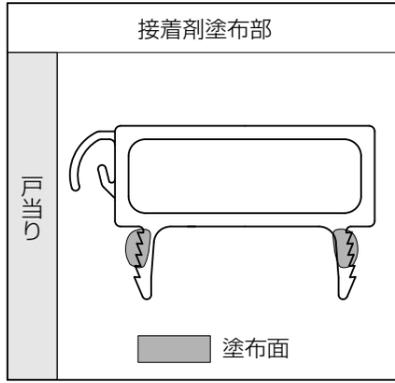


■A部詳細図

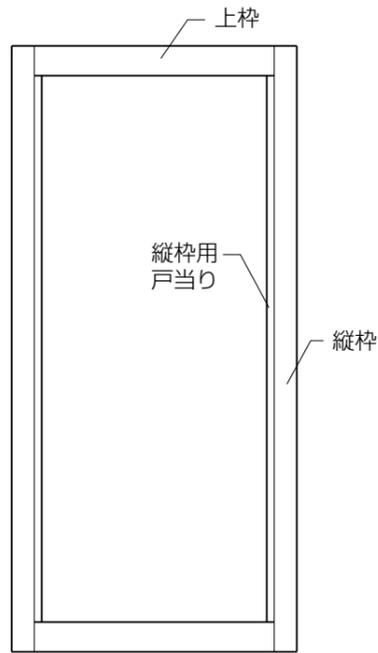


3 戸当りの取付け

- 戸当りの足の外側（リップのある面）に接着剤（現場手配）をつけ、固定してください。（塗布面は下図参照）
接着剤（現場手配）がはみ出した場合は必ずふきとってください。

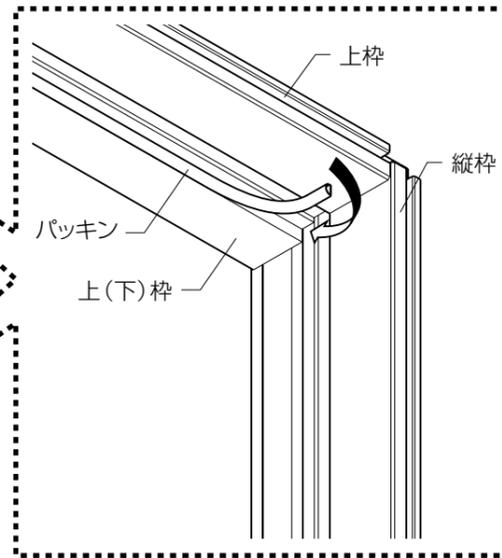
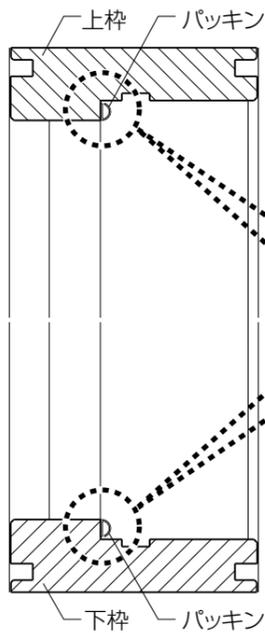


お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

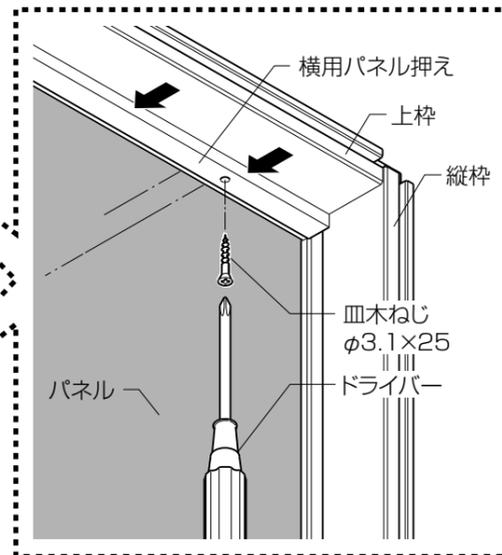
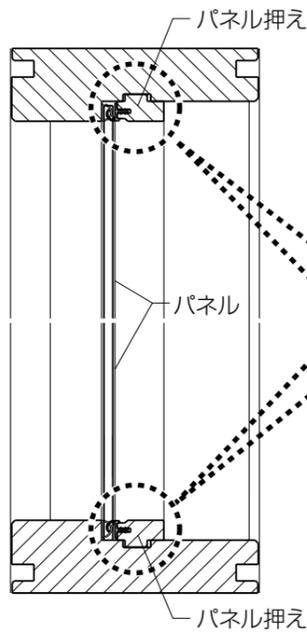


4 パネルの取付け

- ①上下枠に枠に同梱のパッキンを取付けます。
パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して張付けてください。

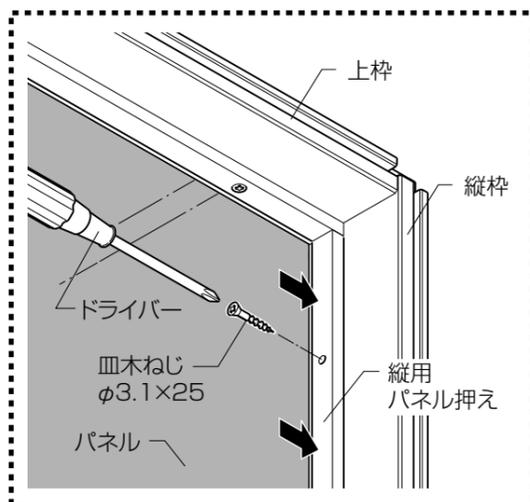


- ②パネルの養生シートをはがし、開口部にはめ込み、上下のパネル押えをパネルに押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。



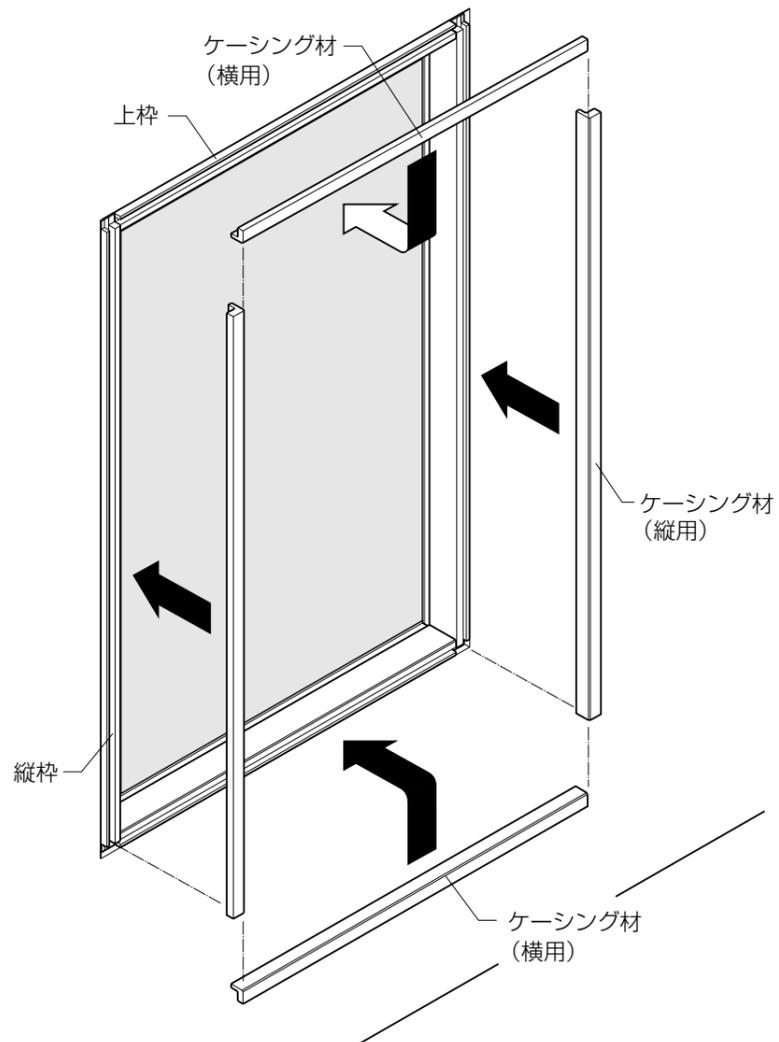
- ③縦側のパネル押えを手でパネル側に押付けながら、固定ねじ（皿木ねじφ3.1×25）で固定してください。

お願い
※ねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーか、手回しドライバーを使用してください。ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。



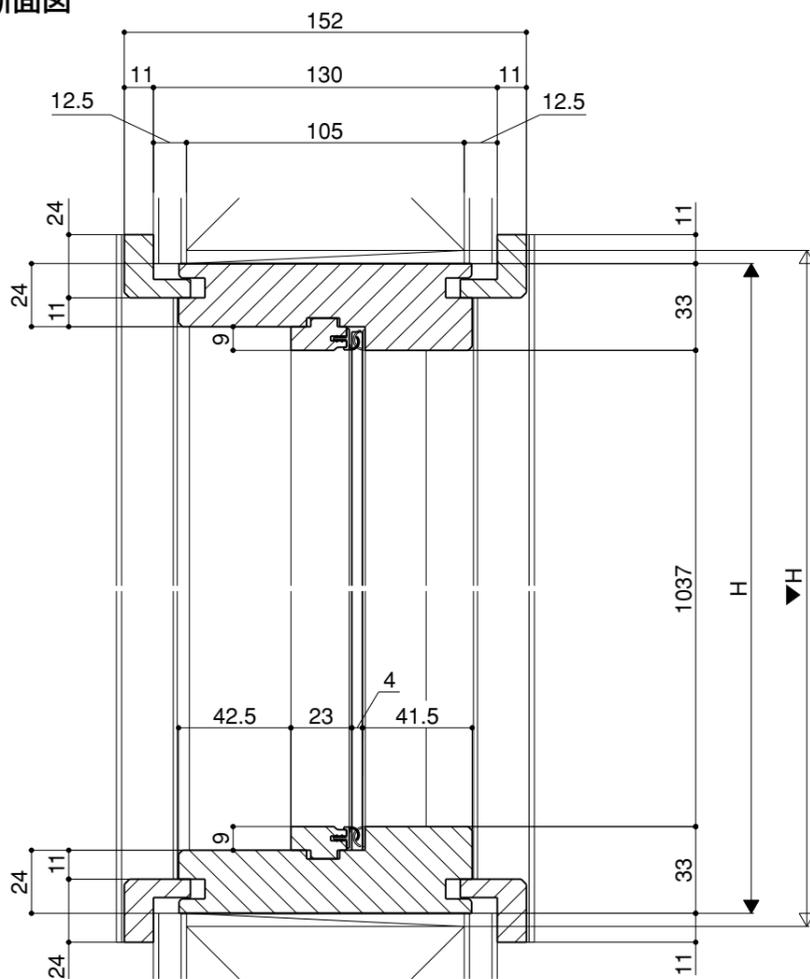
5 ケーシング材の取付け

- ※壁材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

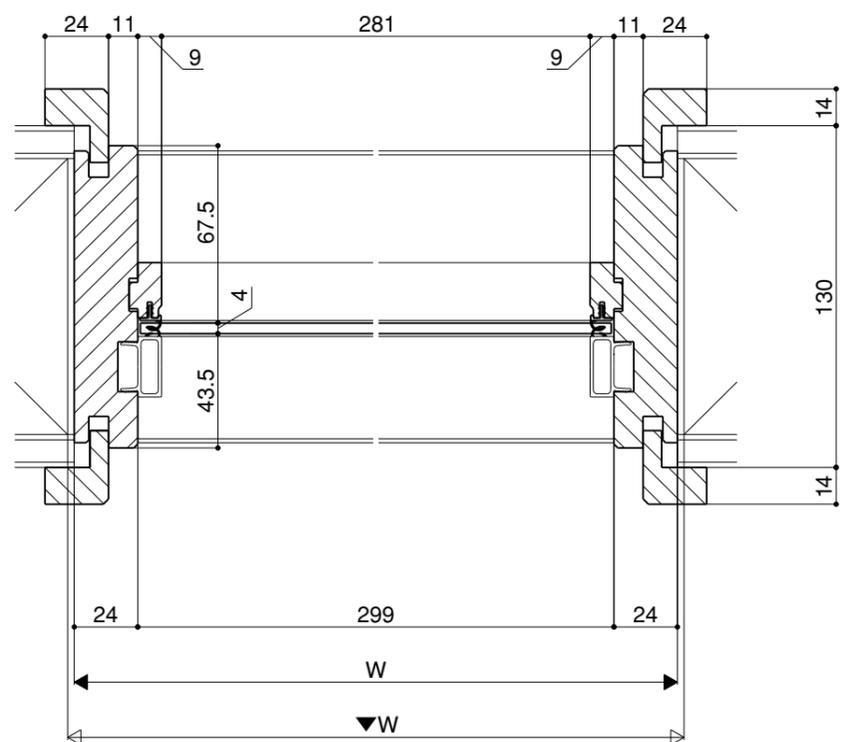


■納まり図

■縦断面図



■横断面図



H呼称 (枠外寸法)	W呼称 (枠外寸法)
H11 (1103)	W03 (347)